

## 1 朝日町「教育に関する点検及び評価」について

### 1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、教育委員会では、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表する。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価は、平成29年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況を対象として実施した。

### 3 点検・評価の方法

点検・評価では、主な事業等の取組・進捗状況等により、課題等を分析し、今後の対応等を検討した。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々から、様々なご意見、ご助言をいただいた。

(50音順 敬称略)

氏 名
尾山 好正
澤木 昇
善田 優子

#### 【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務～略～の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 教育委員会の会議及び活動について

### 1 教育委員会の運営状況

#### (1) 教育委員等

委員等名簿（教育長 任期3年、委員 任期4年）（平成30年3月31日現在）

職名	氏名	委員就任期間・任期	備考
教育長	永井 孝之	H27. 4. 1～H30. 3.31	
教育長職務代理者	氷見 雅浩	H27. 3.24～H31. 3.23	職務代理 H30. 3.24～
委員	野田 博俊	H27.10. 1～H31. 9.30	
委員	南茂 敬子	H28.10.24～H32.10.23	
委員	小澤 政憲	H30. 3.24～H34. 3.23	

#### (2) 教育委員会の開催状況

朝日町教育委員会は、定例会を毎月1回開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。また、29年度においては、5、6、10月に町内の学校訪問も併せて実施しました。

①開催回数 定例会12回 臨時会1回

②会議に付された主な案件

- ・教育委員会重点施策について
- ・学校評価について
- ・平成29年度朝日中学校学力向上サポート事業について
- ・スクールバスの運行等について

その他、町議会に付議する案件等が会議に付されました。

③会議の開催状況

	出席状況	主な審議内容
4月定例会 (4月24日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度教育委員会事務局及び教育機関の組織について</li> <li>・平成29年度小中学校学級編制について</li> <li>・平成29年度小中学校管理職等一覧表について</li> <li>・朝日町小中学校児童数の推移について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・学校訪問について</li> </ul>
5月定例会 (5月29日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（あさひ野小学校）</li> <li>・第24回記念“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について</li> <li>・全国学生ビーチボール交流大会について</li> <li>・第64回下新川郡民体育大会について</li> <li>・平成28年度学校評価について</li> </ul>
6月定例会	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（さみさと小学校）</li> </ul>

(6月19日)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度第4回議会定例会の所管事項について</li> <li>・第24回“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について</li> <li>・第2回全国学生ビーチボール交流大会について</li> <li>・平成29年度学校評価システム推進事業計画について</li> <li>・平成28年度朝日中学校学力向上サポート事業について</li> </ul>
7月定例会 (7月20日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場選手等について</li> <li>・第24回“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について</li> <li>・第2回全国学生ビーチボール交流大会について</li> <li>・平成30年度国県予算に対する重要要望事項について</li> </ul>
8月定例会 (8月17日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会等出場選手について</li> <li>・第34回全国ビーチボール競技大会について</li> <li>・小学校運動会・中学校体育大会について</li> <li>・平成30年度使用教科書の採択について</li> </ul>
9月定例会 (9月21日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年第6回議会定例会の所管事項について</li> <li>・第34回全国ビーチボール競技大会について</li> <li>・全国大会等出場選手について</li> <li>・第38回朝日町美術展について</li> <li>・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について</li> </ul>
10月定例会 (10月30日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問(朝日中学校)</li> <li>・全国大会等出場選手について</li> <li>・生涯学習フェスティバル及びあさひ芸能文化祭について</li> <li>・富山県駅伝競走大会及び町民駅伝競走大会について</li> <li>・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について</li> </ul>
11月定例会 (11月20日)	4名出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修施設で実施</li> <li>・冬季スクールバスの運行について</li> <li>・朝日町美術展について</li> <li>・生涯学習フェスティバル及びあさひ芸能文化祭について</li> <li>・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について</li> </ul>
12月定例会 (12月20日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年第8回議会定例会の所管事項について</li> <li>・全国大会出場選手について</li> <li>・富山県駅伝競走大会及び町民駅伝競走大会について</li> <li>・平成30年朝日町成人式について</li> <li>・平成30年度入学期日等の通知について</li> </ul>
1月定例会 (1月25日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年朝日町成人式の実施結果について</li> <li>・全国大会出場選手について</li> <li>・町民スキー大会、郡民体育大会スキー競技会について</li> <li>・平成29年度卒業式、平成30年度入学式について</li> </ul>
2月定例会 (2月19日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民スキー大会、郡民体育大会スキー競技会の結果について</li> <li>・全国大会出場選手について</li> <li>・平成30年度教育委員会関係予算案について</li> <li>・平成30年度朝日町教育委員会重点施策について</li> <li>・朝日町子ども読書推進計画について</li> </ul>
3月定例会 (3月23日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年第2回議会定例会の所管事項について</li> <li>・平成30年度朝日町教育委員会重点施策について</li> <li>・朝日町子ども読書推進計画について</li> </ul>
3月臨時会 (3月24日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日町教育長職務代理者の指名について</li> <li>・教育委員の席次について</li> </ul>

(3) 研修会等への参加

教育委員研修会への参加を通して、教育委員の資質の向上を図りました。

・H29.6.28 富山県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会

文部科学省職員による講演「新学習指導要領について」を聴講し、意見交換を行いました。

### 3 主な事務事業と評価

#### I 家庭・地域教育

##### ■施策目標

少子化が急速に進む当町にあって、子どもを取りまく環境の変化は著しい。保護者の子育てに対する考えは多様化し、家庭や地域社会の教育力の低下も問題となっている。

そこで、子どもの成長を支える基本的な生活習慣を身につけることを推進する。また、地域における人々とのふれあいや豊かで美しい自然を体験するなどの多様な活動を通して、子どもたちの心の豊かさや社会性を育む。

##### ■取組み概要

- ①家庭・地域教育
- ②地域活動への参加

##### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	就学時健康診断等の機会を利用した家庭教育に関する学習会	新1年生に入学する児童に対して、11月に開催している就学時健診時に、家庭教育に関する学習会を学校と連携して実施しました。	—
	朝日町児童クラブ連合会活動補助 (住民・子ども課主管)	子どもの健やかな心と体を育むため、親子や地域の方々の世代間のふれあいや交流の機会を増やす取組みに対して補助を行っています。 ◆会員数 272人(大人99人、子ども173人) ◆事業内容 8月 親子ふれあいフェスティバル 10月 フラワーアレンジメント教室 11月 子どもビーチ in ASAHI 1月 このゆびとまれ「国立立山青少年自然の家での宿泊学習」 2月 百人一首に挑戦! ◆指導者研修 富山県児童クラブ連合会主催の指導者講習会、指導員養成講習会	252
	放課後子ども教室 (住民・子ども課主管)	地域における健やかな子どもの育成及び放課後における児童の安全な居場所づくりの確保とともに、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを図りました。 ◆実施校 あさひ野小学校 ◆実施日数：26日 ◆参加児童数：延べ人数 344人	392
	子どもの居場所づくり事業 (住民・子ども課主管)	自治振興会では、多様な形で取り組む自主的な放課後等の子どもの居場所づくり事業を実施しています。 〈宮崎地区〉 開設日数 138日(4月～3月) ◆登録児童数 12人 延べ人数 227人 〈五箇庄地区〉 開設日数 115日(4月～3月) ◆登録児童数 9人 延べ人数 562人	1,044

	放課後児童クラブ (住民・子ども課主管)	保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、自主性及び社会性の向上や、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保を目指しました。 (あさひ野っ子放課後児童クラブ) 開催日数 273日 ◆登録児童数 85名 延べ人数 7,570人	8,392
	PTA 連絡協議会活動補助	多様化、複雑化する社会構造の中で、子どもたちの「生きる力」を育み支える PTA 活動を推進するため、町 PTA 連合会が実施する活動に対して補助を行っています。	135
	とやま親学び講座	家庭、地域、学校、行政が協力して「親を学び伝える学習プログラム（親学び）」を推進するため、各学校で講座を開催しました。 ◆小中学校 3校 3講座開催	—
②	三世代交流事業	豊かな自然・伝統文化に関する学習や地域の人々との交流を通して郷土に誇りを持ち、「朝日町を愛する子ども」を育成するため、各地区公民館にて、世代を超えて地区の伝統芸能の継承や清掃活動などの「三世代交流事業」を実施しています。 ◆100千円×10地区公民館	1,000

## ■成果と課題

- ① 就学時健康診断の際に、家庭教育に関する学習会を学校と協力して実施しており、今後とも、子どもの人間形成の基礎を培う家庭の教育力の向上を図っていきます。

児童クラブ連合会が実施している親子ふれあいフェスティバル、子どもビーチ in ASAHI などの各事業においては、各地区単位児童クラブの協力もあり、円滑に運営されており、実人数で190名の参加がありました。また、単位児童クラブの活動では、地域公民館と共同で、町が実施している町民清掃デーへの参加や伝統芸能の継承など、積極的に活動されており、今後とも地域活動への補助を行うなど、その活動の充実を図っていきます。

「放課後子ども教室」については、放課後における子どもたちの安全な居場所づくり、地域住民との交流のほか、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを目的として実施してきました。子どもたちはいろいろなことを体験や交流を通して、心の豊かさや社会性を深めており、実施日数は26日で、参加児童数は延べ人数で344人でした。

地域ぐるみの子育て支援策である「子どもの居場所づくり事業」は、宮崎、五箇庄地区の2地区で、自治振興会が主体となって実施されており、それぞれカルチャーセンターみやざき、五箇庄コミュニティセンター彩の里を放課後等に児童に開放し、地域の方に児童の遊びを見守る世話人となっていただき、放課後の児童の居場所を確保しています。

「あさひ野っ子放課後児童クラブ」あさひ野小学校校下で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保や自主性及び社会性の向上を目的とし実施しており、あさひ野小学校のミーティングルーム等を利用し、児童は宿題をしたり自由に遊んだり、「さんさんタイム」としてスポーツ、将棋、工作教室などを週一回程度行っています。

なお、「児童クラブ連合会」、「放課後子ども教室」、「子どもの居場所づくり事業」及び「放課後児童クラブ」については、住民・子ども課が主管となって事業を実施しており、今後とも住民・子ども課との連携を図り、児童生徒の健全育成に努めて

いきます。

町PTA連絡協議会では、町内の小・中・高校合同による「朝日地区さわやか運動」、「ふるさとの大クリーン作戦」などを実施しており、今後とも補助を行っていきます。

親学び講座は平成25年度から県がとやま親学び推進協議会を設置し、各市町村にとやま親学び推進リーダーやスーパーリーダーも配置され、本格的に推進事業が実施されております。各小中学校において、推進リーダーやPTAと連携し、懇談会などで子育てについて保護者が話し合い学ぶ講座を実施しました。

- ② 「三世代交流事業」については、各地区公民館で地域の伝統芸能の伝承を通して子どもから高齢者までの特色ある世代間交流を行っており、今後とも取り組んでいきます。

また、各地区の活動内容について「あさひ生涯学習フェスティバル」などで発表するなど情報提供に努めました。

## II 学校教育

### ■施策目標

学校教育においては、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成とともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得や、思考力・判断力・表現力の育成及び学習意欲の向上が重要であることから各学校においてはこれらを総合的に育むと同時に、児童生徒、保護者、地域の期待に応えることのできる学校を目指し、開かれた学校づくりを推進していく。

### ■取り組み概要

- ①学校施設等の整備・充実及び安全対策の実施
- ②就学援助の充実
- ③特色ある学校づくりと創意ある教育課程の展開
- ④児童・生徒の健康及び安全の充実
- ⑤教育研究の推進及び教職員研修の充実

### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	学校施設整備補修事業	児童生徒の安全を第一とし、校舎の修繕をはじめ、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、児童生徒が楽しく、安心して学校生活を送れるよう施設設備の安全管理に努めました。 ◆小学校：2校 30件 ◆中学校：1校 22件	2,548 2,654
	学校管理・教材教具整備事業	管理用備品・教材用備品・特別支援学級用備品・給食用備品・健康管理備品等の整備 ◆小学校 ◆中学校	34,204 1,698
	さみさと小学校 防犯カメラ設備設置工事	さみさと小学校に防犯カメラ設備を設置する工事を行いました。	4,815
	さみさと小学校 大規模改修工事	築20年以上が経過し、老朽化が進んでいたさみさと小学校の大規模改修を行いました。	348,906
	さみさと小学校 パソコン更新等	ICT教育推進のため、ノートパソコンの更新やタブレット型端末を導入しました。	296,784
	あさひ野小学校 用水蓋設置工事	通学路横の用水に転落防止用の蓋を設置しました。	1,728
	スクールバス運行事業	◆小学校：中型バス 2台 マイクロバス 4台 ◆中学校：中型スクールバス 1台 ※冬期はマイクロバス2台を追加	15,329 4,166
②	準要保護児童生徒就学援助特別支援教育就学奨励	教育機会の確保を図るため、就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を実施しました。 ◆平成29年度：小学校34名、中学校30名	5,483



	加藤・森島奨学金給付	高校生及び大学生への奨学資金制度の有意義な運用に努め、将来地域を担う人材の育成を図りました。 ◆平成29年度：高校生4名、大学生等3名	924
	中学校給食費無償化	朝日中学校に通う生徒の給食費を無償化しました。	15,392
	体操服支援事業	子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に対する支援を通じて、子育て世帯の負担軽減を図りました。 ◆あさひ野小学校新1年生 20人 さみさと小学校新1年生 48人	926
③	地域講師活用事業	地域の人材を講師に招聘して、将棋や茶道、卓球等クラブ活動の充実やゲストティーチャーを導入して総合的な学習の時間や生活科の時間、いのちの授業等の充実を図りました。 ◆平成29年度：地域講師・ゲストティーチャー あさひ野小：いのちの授業 さみさと小：クラブ活動（茶道、アート）、墨象教室 朝日中：性指導、合唱コンクール審査員	小学校 22 中学校 40
	学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業	平成19年度に策定された「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ、「確かな学力」の育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果の普及を図りました。 実施校：あさひ野小学校、朝日中学校	500
	観察実験アシスタント派遣事業	小学校の理科の観察・実験を支援する補助員の派遣	304
	小学校英語活動推進事業	英語教育非常勤講師の配置 (あさひ野小学校、さみさと小学校)	681
	外国青年招致事業	外国語指導助手（ALT）の配置	5,559
	14歳の挑戦事業	規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指し、学校外で職場体験や福祉・ボランティア活動などを行いました。 ◆朝日中学校2年生（92名） 協力事業所：28箇所	411
	中高連携交流推進事業	教科交流、部活動交流、教育講演会、ボランティア活動	1,970
	スポーツエキスパート派遣事業	部活動においてスポーツエキスパート事業を活用して、顧問と指導者が連携を図りながらスポーツの専門的な技術指導を行いました。 ◆指導者：9名 朝日中学校：バスケットボール、バドミントン、柔道、陸上競技、卓球、剣道、ソフトテニス	448

	スタディ・メイト配置事業	特別支援スタディ・メイトの配置を図りながら、特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備して、個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。	小：7,797 中：685
	学力向上支援サポート事業	朝日中学校において、大学との連携・協力のもと大学生の教員志望者や教員OBを「学習サポーター」として活用する学習活動サポート事業を実施し、学習相談やつまづきの解消、学習意欲の向上を図りました。 ◆学習サポーター：10名、延べ210時間	438
	適応指導教室運営事業	教育センター内にある適応指導教室「あすなる」に指導員を1名配置し、不登校児童生徒に対し、適切な指導及び助言を行いました。	1,365
④	児童（生徒）・教職員健康管理事業	小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査、小学校5年生及び中学校1年生を対象に整形外科医による脊柱側弯症検診を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。また、教職員に対し、成人病検診及びストレスチェックを実施しました。	小：1,871 中：1,253
	スクールガードリーダー配置事業	警察官OBに委嘱し、各小学校を巡回し、安全対策の指導や不審者のパトロールを行いました。	109
⑤	教育センター運営事業	教職員研修、教材の開発、学習活動研修等を実施した他、保護者からの教育相談（7件）にも当たりました。	5,507
	内地留学派遣事業	小学校教諭1名を3箇月間大学に派遣しました。	216

## ■成果と課題

① さみさと小学校については、校舎が築20年以上経過し、老朽化が進んでいたことから、大規模改修を行い、屋上や内外壁、天井、床などの建築主体工事のほか、照明や放送設備といった電気関係を修繕しました。また、同校のパソコンを更新するとともに、タブレット型端末を導入し、ICT教育環境の整備に努めています。さらに、同小学校においては、学校施設及び児童生徒の安全確保を図るため、防犯カメラ設備を設置しました。

スクールバスについては、通年のスクールバスのほかに冬期のスクールバスの運行を行い、登下校時の安全確保に努めました。

② 教育機会の確保を図るため、準要保護や特別支援教育を受ける児童生徒の就学への援助や奨励を行うとともに奨学金制度の周知と適正な運用を行い、地域を担う人材の育成に努めました。

子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に係る支援をはじめ、29年度から朝日中学校に通う生徒の給食費を無償化し、子育て世帯の負担軽減に努めました。

③ 校区の特徴や地域の伝統文化を生かすなど、特色ある学校づくりを目指し、地域の人材を講師に招き茶道やアート等クラブ活動を充実したほか、生活科授業や性指導のゲストティーチャーを依頼するなど、総合的な学習の時間や道徳の時間の充実を図りました。今後も郷土を愛する児童生徒の育成のためにも地域人材の方々との連携事業が必要です。

学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業では「確かな学力」育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果と普及を図りました。学力向上のため今後も継続して実践研究を図る必要があります。

理科の授業や実験の準備を行う観察実験アシスタントを小学校へ派遣し、理科教育における観察や実験の充実に努めました。

小学校の外国語活動においては、外国語指導助手（ALT）や非常勤講師として委嘱した英語指導員から「聞く・話す」を中心に英語を使ってコミュニケーションすることの楽しさを知るとともに、言語や文化に慣れ親しむ学習の充実に努めました。

スタディ・メイト配置事業では、特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備し、個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。学校からの配置要望も多いため、今後もスタディ・メイトの人材の確保と育成を図る必要があります。

適応指導教室運営事業においては、不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対し適切な指導及び助言を行うことを目的として、教育センター内にある適応指導教室「あすなろ」に指導員を配置し、児童生徒の学校復帰への支援を行えるよう努めました。

学力向上支援サポート事業においては、教員を志望している大学生や教員OBを学習サポーターとして委嘱し、中学校において生徒の学習上のつまずきの解消や学習意欲の向上を目的とした学習支援を行いました。

- ④ 小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。特に、心疾患等が疑われる児童生徒に対しては、全教職員がこれらの情報を共有し、安全に学校生活を送られるよう努めました。また、児童生徒及び教職員に対し、麻しんの罹患歴や予防接種歴の調査を行い、把握に努めました。さらに、小学校5年生と中学校1年生を対象に整形外科医による脊柱側弯症検診を引き続き実施し、専門医による詳細な検診の実施により、脊柱側弯症疑いの早期発見に努めました。29年度からは、教職員ストレスチェックを実施し、教職員のメンタルヘルス不調の予防に努めました。

養護教諭が行事や出張等で不在の時には、応急処置の対応及び指導ができる臨時職員を今年度も派遣し、児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう努めました。

食物アレルギーについては、就学時健診の機会や進級時に調査票等で実態把握に努め、学校給食で配慮が必要な児童生徒については、保護者と個別面談を実施し、児童生徒の症状やアドレナリン自己注射薬（エピペン）保持の状況、給食対応の内容等の情報の共通認識に努め、除去食や代替食の対応を行いました。今後の課題として、緊急時の対応に備え、消防機関等と情報を共有し連携を図る必要があります。

学校においては、施設設備の安全点検、通学を含めた学校生活や日常生活における安全指導、職員の研修などを実施しました。危機管理マニュアルの内容確認を行うとともに児童生徒には日々の生活の中で危険を予測して、安全な行動がとれるように危険回避能力の育成を継続的に行う必要があります。

犯罪等の危険から児童生徒を守るため「こども110番」の家の周知や、スクールガードリーダーによる巡回を行うとともに、不審者情報等については、安全情報メールを保護者に通知するなど安全で安心できる環境づくりに努めました。

- ⑤ 郷土を愛する児童生徒の育成のため郷土の自然文化や社会など地域に根ざした教育を進める研修に努めました。児童生徒の実態や地域の特色を踏まえた校内研修や、実践的な指導力を高める研修の継続が必要です。

教員の資質の向上については、教員一人ひとりが使命感や倫理観、人間性を高めるとともに県や関係機関と連携を図りながら研修等を実施し、教師の質の向上を図っていく必要があります。

### Ⅲ 生涯学習

#### ■施策目標

町民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るため、その生涯にわたって生きがいや健康の保持・増進、生活の質的向上を目指す積極的な学習活動を支援し、自主的な学習への意欲を喚起する。

#### 1 生涯学習の推進

##### ■取組み概要

- ①学校教育との連携
- ②生涯学習団体の育成と連携
- ③生涯学習施設・環境の充実

##### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	早稲の香俳句会事業	<p>社会の変化に主体的に対応できる個性豊かな人づくりを図るため、学校教育と生涯学習の連携を推進する事業として、「早稲の香俳句会」を実施しました。</p> <p>俳句会では、実行委員が講師となり、小学校で俳句の授業を行う「出前講座」や、奥の細道の名句を20句覚える「暗誦運動」の取組みを行いました。</p> <p>また、町に縁のある芭蕉に因んで小学生、中学生、高校生、一般から俳句を募集しました。</p> <p>◆投句数：2,365句 ◆出前講座：2校9回 さみさと小学校4～6年生 あさひ野小学校4～6年生</p>	280
	JFA「夢の教室」	<p>子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に日本サッカー協会の協力を得て、こころのプロジェクト「夢の教室」事業を10月30、31日に、バスケットボール元日本代表の池田麻美氏、2月14、15日に、フットサル日本代表コーチの木暮賢一郎氏を招いて実施しました。</p> <p>◆実施学校等：さみさと小学校5年生2クラス あさひ野小学校5年生1クラス 朝日中学校2年生3クラス</p>	670
	友好都市交流事業	<p>友好都市岩手県釜石市から中学生を10人招いて、交流・ふれあいを通じて相互の理解と将来に向けた友情を育むことを目的に実施しました。</p>	208
	朝日町高等学校海外研修事業	<p>教育、学術・文化・スポーツなどの分野における交流、視察を通じて、生徒の学力、資質の向上につながる海外研修に対し、町より補助金を交付し支援しました。</p> <p>◆泊高等学校 台湾台北 12月4日～7日 ◆魚津高等学校(該当2人) 米国12月3日～11日</p>	310

	学校への図書司書の派遣	小・中学校で必要な本の選書、台帳整理のほか、児童・生徒から質問等に対応するなど、読書に親しむ環境つくりのために、各小学校にそれぞれ週2日・中学校へ週1日、図書司書を派遣しました。	2,004
②	生涯学習支援事業	<p>少子高齢化の進展やライフスタイルが多様化する中で、心のゆとりと自己の充実を図り、豊かな生活の実現のため、各種の講座・教室を行いました。</p> <p>◆公民館講座 10地区 2,300千円 ◆公民館シニア知的生活教室 10地区 720千円 ◆町民講座 130千円</p>	3,150
	生涯学習フェスティバル	<p>生涯学習の推進を図るため、生涯学習団体の育成と相互の連携を推進する事業として、「生涯学習フェスティバル」を昨年に引き続き開催しました。</p> <p>町内で活動している生涯学習団体や地区公民館による、俳句、折り紙、絵手紙、押し絵、パッチワーク等の作品のほか、朝日中学校の生徒の作品を展示するとともに、軽スポーツ等体験コーナーも実施しました。</p> <p>◆実施日 11月18日・19日 ◆参加団体 21団体 来場者 996人</p>	115
③	一般図書、児童図書の整備	<p>昨年に引き続き、一般図書、児童図書の整備を実施しました。</p> <p>◆年間図書館来館者数 79,085人（前年 81,303人） ・図書購入 2,443冊 ◆保有図書数 112,840冊</p>	3,877
	視聴覚資料の整備	<p>昨年に引き続き、視聴覚資料の整備を実施しました。</p> <p>・視聴覚資料購入 33点</p>	187

## ■成果と課題

① 「早稲の香俳句会」については、俳句を通じて地域の歴史に親しみ個性豊かな人づくりの機会となっております。学校の先生ではなく地域の俳句講師から学ぶ「出前講座」は、学校教育と生涯学習の連携及び学校と地域との交流を推進しております。今後とも、子どもたちの俳句への興味が増すように、趣向を凝らした事業の展開を図っていきます。

JFA「夢の教室」については、子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に、日本サッカー協会の協力を得て、バスケットボール元日本代表の池田麻美氏とフットサル日本代表コーチの小暮賢一郎氏を講師に招いて実施しました。子どもたちが心豊かに成長していくよい機会となっております今後とも事業を継続してまいります。

友好都市岩手県釜石市との中学生交流事業を実施し、交流地域の文化や歴史を知ること、自分の住んでいる町を再認識することや、同世代との交流を通じて友情を育むなど、多くのことを学ぶ機会となりました。

学校における図書司書の配置については、各小学校にそれぞれ週2日・中学校に週1日派遣し、本の選書、図書台帳の整理、本の修理を行うとともに、生徒からの質問に対応したことにより、それぞれの学校において図書館を利用する児童・生徒が増えました。また、小学校では読み聞かせを実施しており、引き続き、図書に親し

む環境づくりに努めたいと考えています。

- ② 「生涯学習フェスティバル」については、町内で活動している生涯学習団体や地区公民館の活動発表の場として定着しており、俳句、折り紙、絵手紙、押し絵、パッチワーク等の作品のほか、朝日中学校の生徒の作品を展示するとともに、軽スポーツの体験コーナーも実施しました。
- ③ 移転オープンしたH26年11月から3年が経過し、貸出冊数が増加しました。また、朝日町地域おこし協力隊などと協力し、「おとまりとしょかん」や「ぬいぐるみたちのおとまりとしょかん」といったイベントを実施し、読書環境の充実を図りました。今後とも、利用者の要望に沿った図書の整備や住民へのPRを工夫し、今まで以上に利用の拡大を図っていきます。

## 2 家庭・青少年教育の充実

### ■取組み概要

- ①学習機会の提供  
 ②世代間交流の促進  
 ③青少年の健全育成の促進  
 ④生涯学習団体との連携

### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	家庭教育に関する学習会	※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。	—
②	三世代交流事業	※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。	—
③	成人式	満20歳を迎えた青年が大人になったことを自覚するとともに、希望に燃える門出となるよう成人式を挙行了しました。 ◆成人者数：113名 ◆参加者数：99名	620
	有害図書等の立入調査 (住民・子ども課主管)	有害図書等・有害情報への対応として、年に2回、警察等関係団体とコンビニエンスストア、書店に立入調査を実施しました。	—
	青少年育成朝日町民会議 (住民・子ども課主管)	町内における少年の非行を防止するため巡回活動を通し、青少年の健全な育成に取り組みました。 ◆期間 6/30～3/31 (活動日数：16日) 6月 全体会議 鬼遠まつり・あさひまつり会場巡回 夏休み前期・後期・冬休み・春休み巡回 協調月間(11月)巡回、街頭啓発活動	—

	朝日町「社会を明るくする運動」推進委員会 (住民・子ども課主管)	犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための活動を「社会を明るくする運動」推進委員会を中心に実施しました。 6月 「社会を明るくする運動」推進委員会 7月 「泊駅」「アスカ」街頭宣伝、研修大会	—
--	-------------------------------------	---	---

#### ■成果と課題

- ① 家庭教育に関する学習については、※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。
- ② 三世代交流事業については、※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。
- ③ 「成人式」は、新成人者から運営委員を募り、企画・運営から式典まで携わっていることもあり、厳粛に行われています。今後も新成人者と連携し、青年の新しい人生の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促す成人式を実施していきます。  
青少年の健全育成については、健全な成長を阻害する有害図書・有害情報等への対応、若年齢層の薬物使用などが全国的に問題となっており、こうした青少年を取り巻く社会環境を整備するため関係課局や諸団体と連携し健全な青少年の育成に努めます。

### 3 男女共同参画社会の促進

#### ■取組み概要

- ①男女平等意識の啓発
- ②家庭・地域への男女共同参画の推進
- ③参画のための社会環境整備

#### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	男女共同参画社会づくり推進事業	男女の役割を固定的に捉える役割分担意識を解消するための啓発・普及活動として、富山県男女共同参画推進員朝日町連絡会と共催し、男女共同参画社会の実現に向け、広く町民の理解を深めるとともに、地域における男女共同参画について考えるきっかけづくりを目的とした「朝日町男女共同参画推進フェスティバル」を開催しました。 ◆講座回数 1回 ◆参加者数 70人	43

<p>② ③</p>	<p>富山県男女共同参画推進員朝日町 連絡会にて推進員の育成</p>	<p>男女が家事・育児・介護などを共に担う家庭内での共同参画を進めるとともに、地域においても男女が等しく意見を出し合い取り組む活動を推進するため、家庭や地域における実践的活動の中心となるよう、富山県男女共同参画推進員の育成を図りました。</p> <p>定例会等 12回 広報誌「チャレンジ」の発行 1回</p>	<p>—</p>
----------------	--	---	----------

■成果と課題

- ① 平成29年度は、推進員が任期2年目であることから、その集大成として「男女共同参画推進フェスティバル」を開催いたしました。開催にあたり、地域において男女共同参画についてより理解を深めていただけるよう、積極的に広報活動・普及活動を行いました。また、フェスティバルの企画から運営までを行ったことで、推進員の資質向上を図ることができました。
- ② 男女共同参画についてより理解を深めていただくとともに、推進員の活動内容を広く知っていただくことを目的に、広報誌「チャレンジ」を一新し、男女共同参画の啓発・普及に努めました。
- ③ 女性の社会進出、少子・高齢化、家族形態や地域社会の多様化などが一層進み、社会を取り巻く環境は大きく変化をしています。しかしながら、男女共同参画のための社会環境については、依然として性別による役割分担意識が社会慣習の中で残っており、こうした状況に対応していくため、今後も継続して男女共同参画を推進する必要があります。男女がともに個性と能力を認め合う「男女共同参画社会」の実現には、事業者、関係機関・団体、行政、そして町民一人一人が、その必要性を理解し、連携・協力しつつ、積極的な取り組みを進めていくことが重要であることから、意識、固定観念の把握し、町と町民、事業者等が一体となって取り組めるよう努めます。



## IV スポーツ

### ■施策目標

生涯スポーツの推進と子どものスポーツ活動や競技スポーツの充実を図るため、継続的に運動・スポーツに取り組める環境づくりに努め、総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、各種スポーツ競技団体の活動を支援する。

### 1 生涯スポーツ社会の実現

#### ■取組み概要

- ①健康スポーツの推進
- ②スポーツ指導者と組織の育成
- ③スポーツ情報の提供

#### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	地区体育大会(体育祭)開催補助	地域住民のスポーツ振興のため地区体育大会の充実を図りました。 10地区 6,613名	300
	三世代交流スポーツ事業	地域間・世代間のスポーツ交流の充実を図りました。 ◆三世代交流 10地区 1,417名	500
	町民大会等補助金	町民が積極的・主体的にスポーツに取り組む機会を確保するため、町体育協会にスポーツ大会事業を依頼しました。 ◆19種目 1,965名	1,250
	地域スポーツ教室開催	スポーツ推進委員による教室を開催し、スポーツに親しむ機会の充実を図りました。 ◆小中学生ビーチボール教室4回 参加者延べ78名 ◆いきいきスポーツサロン4回 参加者延べ45名 ◆にこにこスポーツ広場11回 参加者延べ163名 ◆PTA親子活動2回 参加者延べ123名	97
	子どもの体力向上推進事業	運動好きな子どもの育成と体力の向上を目指し、体育の授業「体づくり運動」に専門の講師を派遣するなどしました。 ◆学校体育活動サポート事業(小1~小3各クラス) ◆新体カテスト業者分析(小1~中3)	355
	まめなけ!あさひスポーツデー開催	「体育の日」に町民が気軽に参加できるスポーツイベントを初開催しました。 ◆サンリーナー帯 参加者のべ2,338名	544
	スポーツ大会開催事業	全国ビーチボール競技大会及び翡翠カップビーチボール全国大会、全国学生ビーチボール交流大会を開催し、その普及とスポーツ参加の機会づくりに努めました。 ◆全国ビーチボール競技大会333チーム1,622名 ◆翡翠カップビーチボール全国大会125チーム630名 ◆全国学生ビーチボール交流大会16チーム84名	5,351
	ビーチボール普及活動	県内外へビーチボールの普及活動を行いました。 ・京都府宮津市(総合型SCビーチボール体験会) ・大阪府大阪市(大阪府地域スポーツネットワーク会議)	387

②	スポーツ少年団・指導者の育成	スポーツに親しむ子供たちの育成のため、スポーツ少年団の組織、指導者の育成等の支援を行いました。 ◆スポーツ少年団 9団体 115名	200
	スポーツ推進委員研修	地域のスポーツ指導者の育成・確保・活用を推進し、スポーツ推進委員の資質向上を図りました。	288
	スポーツ推進サポーター事業	スポーツサポーター登録制度を設け、スポーツを支える人材の発掘と育成を図りました。	74
③	スポーツ情報の提供	町のスポーツに関わる情報を広報あさひ及びケーブルTVを通じて伝えるとともに、スポーツ教室の情報をチラシの作成とともにHPに掲載しました。	—

## ■成果と課題

- ① 地区体育大会（体育祭）には、町内10地区で延べ6,613人が参加し、各種目を通して競い合いながら、運動に親しむとともに、地域住民間の親睦を深める機会となりました。三世代交流スポーツ事業では、各地区で歩こう会やパークゴルフ大会、ビーチボール大会などが実施され、幼児から高齢者まで、世代を超えた交流が深まり、一体感や活力のある地域づくりが推進されました。

「体育の日」に広く町民が参加できるスポーツイベントとして『まめなけ！あさひスポーツデー』を開催し、幅広い年代の方々に運動やスポーツに親しむことのできる機会をつくるとともに、体験や展示等を通して各スポーツ団体の会員の充実・拡大のきっかけづくりを行いました。また、「夏休み小中学生ビーチボール教室」や子どもから大人までスポーツに親しむ習慣や運動に取り組むきっかけづくりをねらいとした、「ここにこスポーツ広場」を開催しました。また、冬期間の運動の機会づくりとして「いきいきスポーツサロン」を開催するなど、地域スポーツ教室として年間21回のべ409名が参加しました。

スポーツが毎日の生活に定着するよう、今後も各種イベントやスポーツ教室の開催、支援に努め、健康スポーツを推進します。

第34回全国ビーチボール競技大会には333チーム、1,622名、第24回翡翠カップビーチボール全国大会には125チーム、630名が参加し、ビーチボール競技を通してスポーツに親しむとともに交流を深めました。また、2回目となる全国学生ビーチボール交流大会を開催し、16チーム、84名が参加し初めてビーチボールを経験する人も含め、若い世代にも朝日町でビーチボールに親しんでもらう機会の拡大を図りました。

全国ビーチボール大会未参加地域にビーチボールの普及活動を実施しました。京都府と大阪府においてビーチボール実技研修を行いました。今後もビーチボール普及活動に努めます。

- ② 指導者の育成については、指導者の資質向上を図るとともに、新たな指導者の発掘に努め、研修の機会を設けるなど、スポーツの環境整備により努めます。
- ③ スポーツ情報については、広報あさひ、ケーブルテレビ、町HPを活用し、各種大会、スポーツ教室の開催案内を行っており、今後も住民の皆さんが興味・関心をもって主体的にスポーツ活動に取り組んでいただくように、情報発信の拡充に努めます。

## 2 スポーツの技術的な水準の向上。

### ■ 取組み概要

- ① 優秀選手の育成・強化
- ② 組織の育成

### ■ 主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	各種全国大会などの出場選手の派遣奨励	全国大会等出場者に激励金の支給や激励横断幕の掲揚をし、積極的に派遣奨励を行いました。 ◆全国大会等出場選手 34名	674
	青少年競技力向上支援事業	青少年の競技力向上を目指す事業への支援を行いました。 ◆2団体	298
	大学合宿招聘事業	日本体育大学アーチェリー部を招聘し、泊高校アーチェリー部への指導や小中学生の体験教室を行いました。	620
②	スポーツ大会等の後援	競技力向上に向け、各種競技大会の後援を積極的に行いました。 ◆後援申請承認数 22事業	—
	町体育協会活動補助金	競技スポーツ団体育成のため町体育協会組織強化のための支援を行いました。	90

### ■ 成果と課題

- ① 競技力向上に向け、「町青少年競技力向上支援事業補助金」制度を設け、朝日中学校運動部活動トレーニング講習会、町小中高校生バドミントン講習会の開催支援を行いました。今後もニーズに応じた講習会や教室等を開催、支援し、優秀選手の育成・強化に努めていきます。

さらに町体育協会、競技団体との連携をより強化し、積極的に大会の開催・誘致の支援を行い、これまで以上に小・中学生を中心に競技力向上への意欲を高めます。

- ② 町内で開催される各種スポーツ大会の後援及び町体育協会への活動補助を行い組織の育成を図りました。

### 3 スポーツ環境の整備

#### ■取組み概要

- ①拠点施設の整備・拡充
- ②総合型地域スポーツクラブなどの支援

#### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	体育施設管理事業	朝日町文化体育センターの1階ホールエアコン修繕工事やオートキャンプ場のペットフリーサイト増設工事などを行いました。 ◆サンリーナ施設利用者数 124,880名 ◆パークゴルフ場利用者数 21,465名 ◆キャンプ場利用者数 11,933名 ◆小丸山グラウンド利用者 298名	50,715
	武道館建設事業	◆実施設計業務委託 ◆建築主体工事 ◆電気設備工事 ◆機械設備工事 ◆工事監理委託 ◆確認申請、構造計算適合性判定手数料	48,271
	屋内グラウンド建設事業	◆地質調査委託料 ◆実施設計業務委託料 ◆確認申請、構造計算適合性判定手数料	11,712
	社会体育施設整備事業	◆まちなか体育館新築工事 (工事監理委託、施設整備工事、施設備品等)	221,826
	学校体育施設開放事業	小学校2校、中学校1校において学校体育施設開放事業を行い、利用促進を図りました。 ◆16団体利用 ◆利用数：延べ974回 延べ14,008名	1,347
②	スポーツクラブ・サークル活動の支援(ひすいスポーツクラブ)	町民がいつでも、どこでも、体力やそれぞれのニーズに応じてスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブへ事業委託するなどの支援を行いました。 ◆子どもの運動能力向上事業 (キッズ&ジュニアコアトレーニング教室) 36回 521人 町内で活動するスポーツサークルなどをイベントや広報において紹介しました。	473

#### ■成果と課題

- ① 体育施設をより安全で快適に利用していただけるよう計画的に老朽化した設備について更新工事を実施しました。小丸山グラウンドにおいては、定期的にグラウンド整地及び除草を実施し、利用者の拡大に努めていきます。

武道館建設事業については、実施設計が完成し、平成29年12月から建設工事が始まりました。また、屋内グラウンド建設事業では、(仮称)屋内グラウンド新築工事に

むけて地質調査や実施設計を行いました。

朝日まちなか体育館は、平成29年6月に着工し、平成30年3月に完成しました。

今後、平成30年4月に竣工式を予定しており、開館後は、スポーツ施設としての利用だけでなく、公民館事業での活用や、周辺施設と連携した事業等によるまちなかの活性化を目指し、町民が利用しやすい施設づくりに努めていきます。

学校体育施設開放事業は、それぞれ学校体育施設において町民の利用促進を図っています。学校開放の利用者は地区のスポーツ愛好者グループやスポーツ少年団などの団体で、さみさと小学校は11団体、あさひ野小学校は3団体、朝日中学校は2団体が利用されました。今後とも、引き続き学校や利用団体との連絡体制を保持し、町民が利用しやすい環境づくりに努めます。

- ② ひすいスポーツクラブでは、町民が手軽にスポーツに親しむことができる教室や事業を実施しています。クラブへのtoto助成や町の補助金が終了し、子供向けの教室が減少傾向にあることから「子どもの体力向上」をめざす教室開催を委託し、支援しました。

今後も町民のスポーツニーズを把握するように努め、クラブの教室や事業運営等に、適切な支援・助言をします。

## V 文化

### ■施策目標

人々の価値観が物の豊かさから心の豊かさへ変化している中、町民の芸術・文化活動の振興や支援を行い、文化の香り高いまちづくりを進める。

### 1 芸術・文化施設の活用と充実

#### ■取組み概要

- ①文化体育センター・生涯学習館・ふるさと美術館の活用
- ②美術作品の収集

#### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	芸術・文化施設の活用	生涯学習館 詩吟や大正琴、オカリナサークルなど芸術・文化活動の場となっています。 ◆利用者数 4,711人 ふるさと美術館 郷土出身の芸術家の作品をはじめとして、郷土にゆかりの深い芸術を中心に、優れた美術作品を紹介しています。 ◆観覧者数 4,112人	10,760
	常設展・企画展・特別展	芸術文化の拠点であるふるさと美術館では、館蔵展、企画展、郷土作家展等を開催して町民の芸術鑑賞機会の充実を図りました。 ◆常設展 竹久夢二展 4/1～4/21 ◆企画展 斎藤清木版画展 4/22～6/11 ◆常設展 竹久夢二展Ⅱ 6/18～7/12 ◆特別展 北野以悦・北野恒富・島成園展 7/15～8/31 ◆館蔵品展 左時枝油彩画展 9/2～9/18 ◆郷土作家企画展 七澤菜波展 9/23～11/5 ◆常設展 長崎莫人展 11/10～1/14 ◆ふるさと美術館に年賀状を送ろう展 1/20～2/12 ◆館蔵品展 井口文秀展 2/15～3/31	8,343
②	美術作品の収集	次の作品 58点の寄贈がありました。 ・善田優子 日本画 1点 ・長崎莫人 日本画 52点 ・竹久夢二 木版画 1点 ・北野以悦 日本画 1点 ・七澤菜波 書 1点 ・松田郷人 絵画 2点	—

#### ■成果と課題

- ① 文化施設の活用については、ふるさと美術館では、町内の保育所園児や小・中学生に年間を通じて同伴者1名も無料で美術館に来館できる「子どもパスポート事業」

を実施し、観覧者数を増やすことに努めました。

今後も、地域に密着した施設としての活用を図ることが必要であり、文化・芸術の振興を推し進めるためにも、より一層の充実を図っていきます。

- ② 芸術振興の充実のため、郷土ゆかりの作家などの作品収集に努めるとともに、収蔵品の適正な管理に努めます。

## 2 芸術・文化活動の促進

### ■取組み概要

- ①芸術・文化サークル・団体の育成
- ②講座・講演会・美術展の開催
- ③芸術・文化情報の提供

### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①②	朝日町美術展	町の芸術・文化の活性化を図るために、公募による第38回美術展及び小・中学校美術展をアゼリアホールで開催しました。 ◆11月2日～11月5日（4日間） ◆部門 「絵画」「写真」「書」「彫刻・工芸・デザイン」 ◆出品数 141点 ◆入場者数 1,984人	1,214
	講演会・美術展等の後援	芸術団体等の講演会・美術展等の後援を行いました。 ◆後援申請承認数 31事業	—
③	芸術・文化情報の提供	町の芸術・文化に関わる情報を広報あさひ、チラシ等に行っています。	—

### ■成果と課題

- ①② 文化の香り高い町の実現のためには、町内の文化サークル・団体の活動を積極的に支援することが大切です。

37回目となる朝日町美術展には、141点の出品があり、1,984名の来場者がありました。出品数は平年並みでしたが、入場者数は、昨年より86人減少でありました。

また、昨年度に引き続き、小・中学校美術展を同時開催し、連帯化を図りました。

- ③ 町の芸術・文化情報については、マスコミや広報あさひ、ケーブルテレビなどを活用し開催の周知を図っており、今後も芸術・文化情報を提供していきます。

## 3 文化の保護と活用

### ■取組み概要

- ①埋蔵文化財などの公開と施設整備の充実
- ②文化財の調査・研究・保護・継承
- ③伝統芸能の継承と文化の創造

■ 主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	埋蔵文化財保存活用施設運営事業	朝日町埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」では、朝日町で出土した土器、石器や農山漁村で使用された民具、下山新遺跡、境A遺跡、柳田遺跡等で出土した遺物の常設展示や、浜山玉づくり遺跡に関するイベント「翡翠フォーラム in 朝日町」を開催するとともに、通常体験として、勾玉作り・火起し、錫アクセサリーなどの体験教室を行いました。 ◆観覧者数 2,357人 ◆体験者数 497人	8,573
②	文化財の管理・保護	文化財の管理・保護事業として次の事業を実施しました。 ・指定文化財所有者への文化財保護管理交付金の交付 29件 ・指定史跡の草刈、清掃 ・不動堂遺跡管理 復元住居建物薫蒸、周辺立木剪定、芝刈り等	1,889
		鹿島樹叢樹木伐採工事	454
		ヒスイ海岸周辺観光資料館整備	4,870
		大平寺谷アンモナイト等調査事業委託	1,000
	文化財の調査	浜山玉づくり遺跡歩道整備及び雑木処理・臨時駐車場造成工事	1,523
③	あさひ芸能文化祭	・試掘等調査 町南保遺跡 朝日町の芸能・文化団体が、文化体育センターに一堂に会し日頃の練習成果を発表しました。 ◆実施日 11月19日 ◆出演者数 18団体 観覧者数 796人	113
			235

■ 成果と課題

- ① 埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」運営については、常設展示を行い、イベントとして浜山玉づくり遺跡発掘50周年記念事業「翡翠フォーラム in 朝日町」を開催したほか通常体験として勾玉づくり、火起こしなどの古代体験を年間通じて実施し、利用者の増加に努めました。  
今後も、新たな企画展や体験メニューを企画するなど内容の充実を図るとともに、広報やホームページなどを通して情報提供を盛んにして、利用者の増加に努めていきます。
- ② 文化財の管理・保護については、鹿島樹叢樹木伐採工事やヒスイ化石KANの整備、大平寺谷アンモナイト等調査事業の委託等、また、町指定文化財保護交付金の交付、不動堂遺跡公園の保全・修繕などを実施しました。



- ③ あさひ芸能文化祭は、町内の伝統文化を継承する団体や芸能サークル等の団体が一堂に会し、日頃の活動の成果を発表する場として多くの住民の来場をいただいております。今後も新規団体の発掘や観客数増員も含めて、広報やケーブルテレビなどを積極的に活用していきます。

## 4 学識経験者意見

- 家庭・地域教育
  - ・「豊かな自然と文化の町」この特色を子どもたちが体験し「朝日町を愛する子ども」の育成を大切にしていきたい。
  - ・放課後子ども教室、子どもの居場所づくり事業は、児童館がない地区において、健やかな育ち、安全な居場所づくりに大いに役立っている。保護者は安心して仕事に従事できると思われる。今後とも継続できるように支援していただきたい。
  - ・親学び講座では、保護者同士が互いに意見交換をしながら理解し合える貴重な場となる。お互いの価値観や考え方を学び合うことは子育ての参考になると思われる。今後も継続するよう支援をお願いしたい。
  
- 学校教育
  - ・スタディ・メイトの確保と育成が大切である。また、カウンセリングにより弱者の心に寄り添い、自己発見を促すことも大切である。
  - ・学校管理・教材用備品の整備は、手厚く行われていて他の市町村よりも進んでいると思われる。子どもたちの安心安全や学びに直結することなので今後も手厚い支援をお願いしたい。
  - ・さみさと小学校の防犯カメラは、職員室にいるものは誰でも確認することができ、学校近辺に近づく人が容易に確認できる。外に出てみて防犯カメラの設置場所を探しても簡単には見つけられない。さらに防犯効果を高めるために、カメラの設置場所であることが分かるように大きくプレートを掲示したら良いと考える。
  - ・さみさと小学校のパソコン等の更新は適切な時期に実施していただいている。タブレットの導入では、クラス全員がそれぞれ操作できるように数も配慮していただいている。子どもたちは新しいIT機器に慣れ親しみ、楽しく学んでいる。IT機器を導入した学習に役立てていけるように先生方の研修にも支援をお願いしたい。
  - ・中学校の給食費無償化は、中学生を持つ保護者にとっては負担軽減につながる素晴らしい政策である。町長が目指す子育て応援日本一のまちづくりの施策の一つだと考える。また、中学校では長年給食費未納の問題も一気に解決できる政策になったと思われる。
  - ・小学校入学時の体操服支援事業は、小学校に入学する保護者の負担軽減につながる素晴らしい事業である。今後も継続をお願いしたい。
  - ・小学校英語活動推進事業は、新しい学習指導要領の実施で英語が教科として実施することになった。これまで、2校で1名の英語の非常勤講師の配置がそれぞれの学校に配置されることになり、担任との打ち合わせもスムーズであり、英語学習をする上で子どもたちの指導にも役立っている。今後も継続をお願いしたい。
  - ・スタディメイト配置事業では、近年特別支援を要する子どもが増加している。スタディメイトを確保し、特別支援を要する子どもたちに適切に対応していただいていると思われる。朝日町の対応は県下でもトップクラスであると思われる。今後も継続していただきたい。
  
- 生涯学習
  - ・「生涯学習フェスティバル」の充実と継続が大切である。
  - ・サンリーナを拠点に健康増進に役立ててほしい。(南保の越周辺や越山の山歩きなど、自然環境が良いため)
  - ・早稲の香俳句事業は、子供の頃から言葉を紡いで表現する俳句を体験することで、豊かな情緒を育てることができ、とても良い事だと考える。また、実行委員会を組織し、

委員が学校へ出向いて「出前講座」や「暗誦運動」を実施していただいている。小学4年生の国語で俳句について学ぶことから、俳句の学習に役立っている。また、松尾芭蕉が通過した町という縁もあり、俳句づくりに児童生徒が取り組むのもふるさと教育の一環として大切なことと考える。今後も継続してお願いしたい。

- ・ JFA「夢の教室」は、子どもたちの夢をはぐくむ事業として定着してきている。いろんなスポーツの一流選手から学ぶ機会は、子どもたちにとって貴重である。どの子どもも真剣に話を聞き、運動に取り組んでいる。今後も継続していただきたい。
- ・ 図書司書の派遣により児童の本への関心がこれからも深まれば良いと考える。もっと児童が本に親しむ時間を日頃から持てないだろうか。例えば朝の15分～30分でも本と向き合う時間を持ち、興味のある本との出会いにより、その習慣化を期待したい。
- ・ 学校への図書司書の派遣は、学校の図書館の環境づくりに大変役立っている。台帳の整備を進め、新刊図書を早くから揃え、子どもたちが図書に楽しく触れることができる環境づくりに大いに役立っている。図書室に通う子どもも確実に増えている。これまで、司書の配置前は担当の教諭が台帳整理をしなくてはならず、したがって新刊図書の購入も遅れがちだったことを考えると司書の配置は大きな効果を生んでいると思う。今後も継続していただきたい。
- ・ 朝日町出身の著名な方々（細川嘉六、馬場はる、宮崎太郎など）のことが分かるような図書、資料を収集し、町外からそれらの方のことについて尋ねてこられた時、答えられるよう備えるべきである。また、それらのコーナーを設けて展示することも検討していただきたい。

#### ○ スポーツ

- ・ 武道館、屋内グラウンドと新しい施設が完成するが、既存施設含め多くの人々が利用し易いような環境づくりに努めていただきたい。
- ・ 各種大会やイベントは、町民がスポーツに親しみながら体力を作り、地域の人々との交流の場となる。今後も内容の充実と事業の継続をしていただきたい。
- ・ 町内外から注目されているトレイルランのコースを活かしたハイキングや、山城等の歴史的遺跡の解説を聞きながら歩くウォーキング等の企画があれば良いと考える。魅力ある朝日町の自然と歴史を、多くの方々に知ってもらえる機会があれば良いと考える。

#### ○ 文化

- ・ 町美術展の充実と、小・中学校及び町外の高校生の作品の展覧を期待したい。
- ・ 町又は美術館の主催で文化的教室（絵画・彫刻・陶芸等）を開催し、制作した作品を町美術展へ展覧していただく。また、このような体験教室からサークル活動へと繋がれば町の活性化や、心の潤いも期待できると思われる。
- ・ 朝日町の家・里・森を野外展示スペースとして、広く作品を募りアートフェスタの開催を、将来的に検討していただきたい。
- ・ 国県町指定文化財の所有者に、適切な管理をしていただけるように支援をお願いしたい。

#### ○ その他

- ・ 今後、泊高等学校がなくなることから、入善町と今から情報交換や協力体制を作り、事業の充実と継続に努めていただきたい。
- ・ 町には様々な看板が設置されているが、経年劣化がすすんでいてもそのままになっている看板が見受けられるので日頃の確認と修繕など、対応をお願いしたい。